

地域再生 実践塾

2012

山形県鶴岡市

食と農

～在来作物の存在と

意義を見つめ直す～

10・24(水)～10・26(金)

明日に続く道
明日を築く道

その一歩が未来に
つながっています

平成24年度
参加者
募集
申込締切日
9月24日(月)

対象者

地方公共団体、商工会、商工会議所、NPO等、地域再生に取り組もうとしている人及び取り組んでいる人
[原則として、3日間受講が可能な方]

受講費用

無料 ※交通費、宿泊費、飲食代などは参加者負担となります。なお、宿泊については、各自で手配してください。

申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、申込締切までに郵送またはメール(chiiki@jcrd.jp)、FAX(03-5202-0755)で送付してください。参加申込書は下記の当センターホームページよりダウンロードできます。なお、申込締切後、受講決定の案内を送付します。届かない場合にはお手数ですが裏面の問い合わせ先までご連絡ください。

募集人数

40名(定員を超える場合は抽選。)



財団法人

地域活性化センター

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>

共催 鶴岡市 後援 内閣府、総務省、山形県



平成 24 年度第 3 回

『食と農～在来作物の存在と意義を見つめ直す～』

趣旨

高度経済成長期以降、経済効率や生産効率のみが重視され、日本各地で長年栽培されてきた地域固有の在来作物は商業品種に置き換えられ、さらには、食生活の変化や栽培者の高齢化などの理由から、これまで私たちの生活を支えてきた在来作物は現在、消滅の危機に瀕しています。

在来作物は、遺伝的多様性をもつ生物資源としてはもちろん、地域固有性の高い地域資源としてその保存・利活用が重要な課

題となっています。

山形県鶴岡市では、在来作物の記録・保存にとどまらず、地域固有の栽培技術や食文化の継承を担う貴重な文化財として価値を見出し、光を当てることにより、多くの実践者の取組みにつながっています。

今回、鶴岡市の食と農にまつわる事例を通じて、地域固有の在来作物の存在と意義を見つめ直し、その文化の多様性の保存や利活用について考えます。

研修会場

会場までの交通アクセス

東北公益科大学大学院
鶴岡キャンパス 大学院ホール
〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町 14-1
★JR 鶴岡駅からバス、タクシーで10分

日程

10月24日(水)

- 13:30 開講式・オリエンテーション
- 13:45 Lecture 1 「総論・問題提起」
主任講師 江頭 宏昌 氏
- 14:40 Lecture 2 「食からはじまる地域づくり」
特別講師
イタリア料理店「アル・ケッチャーノ」
オーナーシェフ 奥田 政行 氏
- 15:35 Lecture 3 「鶴岡市の食と農の取組みについて」
特別講師 鶴岡市役所職員
- 16:30 Lecture 4 「真室川町の伝承野菜について」
特別講師 山形県真室川町役場 産業課
商工観光・ブランド担当主任 高橋 伸一 氏
- 17:15 Lecture 5
「朝ミュージアムが作り出す可能性について」
特別講師 湯田川温泉・庄内朝ミュージアム 代表
庄司 文彦 氏
- 18:00 Lecture 6 「在来野菜と庄内の風景」
特別講師 写真家「写真企画」経営
東海林 晴哉 氏

10月25日(木)

- 9:00 Lecture 7 「FWの説明」
主任講師 江頭 宏昌 氏
- 10:00 Field Work 1 「生産現場の視察(カマトリイモ畑)」
特別講師 添津カマトリ部会 部会長 小池 千代子 氏
- 13:00 Field Work 2 「生産現場の視察(藤沢かぶ焼畑)」
特別講師 後藤 勝利 氏
- 14:30 Field Work 3 「加工現場の視察(株式会社本長)」
特別講師 株式会社本長 代表取締役 本間 光廣 氏
- 16:00 Group Work 1 「視察の整理」
主任講師 江頭 宏昌 氏

10月26日(金)

- 9:00 Group Work 2 「グループ発表・講評」
主任講師 江頭 宏昌 氏
- 11:05 Lecture 8 「総括」
主任講師 江頭 宏昌 氏
- 11:55 閉講式

山形県鶴岡市の概要

鶴岡市（人口136,623人：平成22年国勢調査数値）は、山形県の西部に位置し、面積は1,311km²と東北一の広さを誇ります。北は遠く秀峰・鳥海山を望み、東に山岳修験の山として知られる出羽三山、南には国内有数のブナ林が広がる朝日連峰と三方を山々に囲まれ、国内有数の穀倉地帯である庄内平野が広がっています。

一方、日本海に面する西には延長約65kmにわたって海岸線が形成されており、山岳・平野・海岸部と多様かつ豊かな自然環境のもと、水稻をはじめ特産の「だだちゃ豆」など、四季折々に多種多様な作物が作られています。

また、古くから庄内地方の政治・経済・文化の中心都市として栄え、今もなお城下町としての面影を残しており、近年では、当市出身の小説家・藤沢周平原作の「蝉しぐれ」をはじめ、「おくりびと」など数多くの映画が撮影されたロケ地としても知られています。



主任講師

1964年北九州市生まれ。1990年京都大学大学院農学研究科修了。同年に山形大学農学部助手。2001年(平成13年)より現職。農学博士。専門は植物遺伝資源学。「在来野菜は地域の文化財であり、その保存が急務である」という故・青葉高博士の考えに共鳴し、山形県内の在来作物を中心にその研究や保存活動などに積極的に取り組んでいる。山形在来作物研究会会長、エダマメ研究会幹事。



山形大学農学部食料生命環境学科
准教授
山形在来作物研究会会長
江頭 宏昌 氏

主な著書、編著等：
「どこかの畑の片すみで」（共著、山形大学出版会、2007）、「伝統食の未来」（共著、ドメス出版、2009）、「おしゃべりな畑」（共著、山形大学出版会、2010）、「焼畑の環境学」（共著、思文閣出版、2011）など。
山形在来作物研究会 HP：<http://zaisakuken.jp>

申込先・問い合わせ先

財団法人 地域活性化センター 振興部 地域支援課

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4 日本橋プラザビル 13 階

TEL (03)5202-6136 FAX (03)5202-0755
E-mail chiiki@jcrd.jp
URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>